

2021年12月期第2四半期決算説明 質疑応答集

ベルトラ株式会社

この質疑応答集は、2021年8月12日（木）に開催したアナリスト・機関投資家向けオンライン決算説明会および決算発表後の1on1ミーティングにて、ご出席の皆様からいただいた主なご質問をまとめたものです。ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

質問1：Hawaii Activitiesの今後の需要動向について、どのように考えているか教えてください。

回答：北米市場では現在、旅行者が非常に活発に動いている段階です。それに合わせて我々も商品ならびに体制の強化を随時進めているところであります。ただ、この活発な状況が継続して拡大していくとは考えておりませんので、より競争性が高く、優位に立てる施策を随時打ち出している段階です。

質問2：今後のコロナからの回復シナリオについては理解しました。御社の2019年の業績レベル（売上・営業利益）に戻るの、いつ頃とお考えでしょうか。

回答：我々としみしても、できる限り早く2019年の業績に戻したいと考えております。しかしながら主力である海外旅行事業がいつ回復するか、といった点に左右されると言えます。現在、新規サービスを開始しておりますが、あくまでも中長期的な目線で育てていくものであり、新規サービスによって短期的に2019年の業績を上回るという想定はしておりません。しかし以前に比べ、現在非常に筋肉質な経営体制になっていることから、今後は以前と同じ事業を行った場合においても、収益力は飛躍的に上がっていくものと考えております。

質問3：Hawaii Activitiesについて、現在どのような商品が人気なのでしょう。合わせてHawaii Activitiesの強みについても教えてください。また、国内においてはどのような商品を拡充しているのか教えてください。

回答：ワクチン接種は進んでおりますが、感染リスクを避けるといった点で、アウトドア商品に圧倒的な人気が集まっております。もちろんハワイという土地柄・特性もございしますが、例えばマリンスポーツやトレッキング、乗馬など、特に外に出て行うアクティビティが現在Hawaii Activitiesにおける主力の商品となっています。

また、Hawaii Activities の強みですが、ハワイに特化した現地のローカルエキスパートと
いった、グローバルな他企業に比べても、非常に専門性の高い知識を持ったスタッフが従事
しております。現地の島ならではのネットワークコミュニケーションを活かして、他社では
参入が難しい商品を獲得できる点、プロモーションを積極的に打ち出していける点が、
Hawaii Activities の一番の強みであると考えております。

そして日本国内におきましても、お客様は感染リスクを避けるために、都市部の混雑して
いるところよりも、混雑の少ない地方を旅行地として選ぶ傾向にあります。我々は感染リス
クを下げたいという需要に合った旅行体験、アクティビティを揃えることが重要であると
考えております。ハワイと同じくアウトドア商品の拡充はもちろんのことですが、その中で
も我々は、日本国内の離島における旅行体験を非常に重要視しております。当然、沖縄は代
表的な離島であり、人気の旅行地ですが、それ以外にも日本国内には様々な離島がございま
す。我々はお客様に旅行体験を通じて非日常を提供しておりますが、海外旅行が難しい今、
日本国内であっても大きく異なる文化体験が可能な離島を通じて、非日常的な体験をして
いただけるよう、商品の拡充を強化して参りたいと考えております。

質問4：財務状況はいかがでしょう？

回答：財務CFについては、今年の1月に株式会社オーブンドアを引受先とした第三者割当
増資により14.6億の増加があり、財務安定性を図っております。また金融機関からの短期
借入金6億円についても返済を進めた結果、借入金残高も8千6百万円に減少してしま
す。フリーCFについては、米国ハワイにあるグループ会社の収益の大幅な回復及び先の予
約数の増加による前受金の増加が寄与し、前年同期比と比較しても大幅に改善してしま
す。特に第2四半期の3ヶ月間では、フリーCFが+9百万円とプラスで推移するまで回
復してきております。

以上